

ふれぜんと

今日も仕事を終え、大好きな音楽を聞きながら家路へと車を走らせる。

音楽と車。これが一日頑張った自分への1つ目のプレゼントである。

車を飛ばすわけではなく、ゆっくりとのんびりと音楽を聞きながら走っているうちに、心も体も癒される。

家につくと2つ目のプレゼントが待っている。子どもたちが起きていれば、その日のことをちょっと聞く。

いいことであっても、悪いことであっても、

子どもの口から発せられる言葉は、私にとってとても安らぎの言葉である。

そして、3つ目のプレゼント。風呂へいき、ゆっくりと湯船につかりながら、ぼーっと、……。とても心地よい時を過ごすことができる。

一息ついて、子どもたちが風呂に入った時に、湯気をついた壁に遊びながら書いたであろう落書きが、立ち上る湯気と共に浮き上がってくるのを眺めるのが日課である。

今日はどんな落書きをして遊んだんだろうと、湯船につかりながら湯気の先にある壁に目をやると、

「パパへ お疲れさま。大好きだよ！ お仕事頑張ってるね！」

今日は、とびきりの「ふれぜんと」が待っていた。